

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	長野県	市町村名	飯田市	大学名	
派遣日	令和3年7月2日(金曜日) 14:00~14:15 Zoom 接続テスト 動作確認(事務局担当者・市川先生) 14:50~ 開会行事 14:55~ 研修 第1部 外国人受け入れの現状とDLA 15:25~ 第1部 質疑応答 15:35~ 第2部 個別の指導計画の書き方 15:45~ 第2部 質疑応答 15:55~ 第3部 JSLカリキュラム実践例紹介 16:30~ 第3部 質疑応答 16:43~16:45 閉会行事				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔				
派遣場所	Zoomによるオンライン講習				
アドバイザー氏名	大泉町立北小学校 教諭 市川 昭彦 氏				
相談者	飯田市教育委員会事務局 学校教育課				
相談内容	市内には県の加配教員により、小学校に5校、中学校に1校日本語教室の設置がある。日本語指導教室の担当教員は経験年数や指導方法も様々であり、研修の機会もなかなか確保されておらず、不安を感じている教員もいる。 ついては、日本語教室担当教員に対し、現場における実践を交えた講習をお願いしたい。また、「個別の指導計画」の作成方法及び活用方法について助言をいただきたい。				
派遣者からの指導助言内容	・外国人受け入れの現状について ・日本語能力の把握とDLAについて ・個別の指導計画の書き方について ・JSLカリキュラム、AUについて ・JSLカリキュラムの実践例の紹介				
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	・参加者の感想には「貴重な実践をたくさん聞かせていただいて勉強になった。質問力をつけること、力をつけるための書き取りの方法などももちろんだが、教室での学びを学校中に伝えて連携をとるということも課題だと気づけた。」といった記述がみられた。 ・既に作成済みの個別の指導計画、及びカルテの形式について検討を進める。 ・作成した個別の指導計画やカルテを有効に活用されるような体制づくりを推進する。 ・次回以降の日本語教室担当者会では、本研修会で教示いただいた、DLAの演習や、AUから授業を組み立てる演習の実施を検討する。				